

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

TsuGaru

グループの名称

YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】

直近採択グループ番号

04-0135-0026

(グループ代表者)

代表者名

石郷岡 義長

代表者印

代表者所属先

株式会社石郷岡

代表者所在地

青森県弘前市大字神田二丁目3-12

代表者電話番号

0172-35-2100

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社石郷岡

事務局担当者名

肥後 孝将

印

事務局郵便番号

036-8061

事務局所在地

青森県弘前市大字神田二丁目3-12

事務局電話番号

0172-35-2100

事務局FAX

0172-35-2135

事務局担当者E-mail

t.higo@ishigoka.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		15	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	15	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	5	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		11	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	11	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		11	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	11	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
申請が未確定(上限100万円)		3	戸				
加算申請		上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		1	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		4	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		3	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	配分ルールは、申請確定で尚且つ、請負契約済みでグループ採択決定、配分通知を待っている施工事業者を優先的に配分していく。また、今まで補助金活用実績のない施工事業者にも優先的に配分していく。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	4戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4戸
	補正予算	採択戸数	6戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	2戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) TsuGaru	(地域型住宅供給対象地域) 青森県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】	(結成年) 2013年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0135-0026	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	YJK会「TsuGaru」の特徴として『雪と寒さに強い家』として、断熱性能4等級からマイナス10%以上削減した性能とする。また、一次エネルギー消費量等級を高度省エネ型住宅の認定低炭素住宅の基準相当である等級5を基準とするため、環境にやさしく省エネルギーな居住水準の向上、経済的な住環境設備機器の採用を推進していく。	◎、○ 記入欄 ◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	構造材の過半を合法木材を取得した材料を使用する。羽柄材のうち、10%以上を青森県産材認証制度により産地証明のなされた材料を使用する。また、森林の活性化やCO2排出量の抑制、地域循環型社会への貢献等を目的とし、①ペレットストーブ又は薪ストーブの導入。②太陽光発電システムの導入。③ヒートポンプ式冷暖房システムの導入。④高効率給湯器の導入。⑤第一種換気システムのいずれか1つ採用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	青森県は日本海側の津軽地域は多積雪、太平洋側の三八上北は少積雪が特徴です。当グループ構成員の施工事業者は津軽地域に集中しているため、多積雪に対応する住宅を一般消費者へ供給しなければならない。特に、屋根雪の積り方は降雪量、風速、気温の条件、屋根形状と勾配により変化する。これらの条件を考慮し、近隣のトラブル等の少ない屋根形状を設計し提案する。	◎
④①～③の背景	青森県の津軽地域は本州最北端に位置し、全域に於いて寒さがとても厳しく、積雪も多い。その為、YJK会「TsuGaru」は、『雪と寒さに強い家』を目指し、断熱性能と一次消費エネルギーの削減率、無落雪屋根や勾配等に配慮した家づくりを推奨していく。また、環境にやさしく省エネルギーな居住水準と経済的な生活向上を目的に一次エネルギー消費量の基準を設定した。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし。	
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		
a		◎、○ 記入欄
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: YJK会「TsuGaru」で独自の仕様カタログを作成し、グループ構成員がカタログを活用しグループの仕様用材の寸法規格化を行う。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: YJK会「TsuGaru」で独自の仕様カタログを作成し、グループ構成員がカタログを活用しグループの標準仕様建材の統一化を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: YJK会「TsuGaru」の仕様カタログを基に、グループの仕様ルールや標準仕様等、グループ構成員が活用できるようにする。また、一般消費者に対しても説明理解できる内容とすることで住宅生産体制の整備を図る。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: YJK会「TsuGaru」で使用する建材や資材は、グループ構成員で検討された仕様書記載の資材をなるべく共同で調達することで、少しでも低価格で工務店に提供できる体制を整備する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ構成員で検討された使用記載の資材をなるべく共同で調達することでコスト面、納期短縮を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: YJK会「TsuGaru」実行委員会を開設し、生産体制の合理化に向けた内容をテーマとした実行委員会の開催を行い検討していく。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: YJK会「TsuGaru」のホームページを開設し、一般消費者へグループの取組実績や仕様ルール、完成見学会開催のお知らせの情報提供を行い、住宅の生産に寄与する。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: YJK会「TsuGaru」実行委員会の中でお客様のニーズとグループの方向性を共にした施工基準書を作成し、グループ内と一般消費者への信頼性向上に向けた取組を行っていく。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: YJK会「TsuGaru」実行委員会のメンバーを中心に施工中の現場を巡回し、仕様ルールや基準に則した住宅か否かの検査を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 特に県産材の適正単価を見える化し「統一見積書」を作成、グループ構成員の全施工事業者が活用できるようにしていく。また、併せて一般消費者に説明、理解していただくことで互いの信頼性の向上に繋げる。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅引渡し時に、YJK会「TsuGaru」の仕様適合した住宅であることを証明する「TsuGaru適正住宅証明書」を発行する。また、お施主様の疑問や不安を解消するために事務局が随時施工事業者、または一般消費者からの相談を受け付ける。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) TsuGaru	(地域型住宅供給対象地域) 青森県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0135-0026	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	ナイス株式会社が運営する住宅履歴情報「いえかるて」を有効に使い、各事業者が1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年と住宅の履歴を蓄積する。	◎
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関が運営する情報サービス機関に各事業者が1年、3年、5年、10年、15年、20年、25年、30年蓄積を行い、事務局より実施点検を促す。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ナイス株式会社の運営する住宅履歴情報「いえかるて」の有効活用についてアナウンスし一括管理することの重要性を促していく。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ナイス株式会社の運営する住宅履歴情報「いえかるて」に登録することにより、事務局への通知が届く為、これにより質問事項等の対応を併せて行う。	○
	② メンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検の共通ルールについては「JBN住まいの管理手帳」を使用して説明を行い共通ルールとする。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修の共通ルールについては「JBN住まいの管理手帳」を使用して説明を行い共通ルールとする。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ナイス株式会社の運営する住宅履歴情報「いえかるて」に登録することで事務局へ点検時期や点検修了、設備機器等のリコール情報が届くことで確認する。	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報サービスの使用方法や活用方法について、グループ内にて講習会を開催し利用者の理解を深める。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一回開催しているリフォームイベントにてDIY体験会を開催してDIYに関心を持たせる。	○
	③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 特になし。	
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: グループ実行委員会において、お施主様からのクレームや相談、維持管理内容について検討して、問題解決していく。	◎
	⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 特になし。	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事業者が倒産または廃業で工事中に、工事の続行が不可能となった場合や完成引き渡し後のアフターメンテナンスの継続が不可能と判断した場合、実行委員会においてグループ内の事業者を斡旋し、対象住宅のバックアップを全面的に支援する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建設業界に特化した弁護士等を招き、住宅の瑕疵内容等についての事例を基に勉強会を開催して瑕疵の重要性を認識させる	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	特になし。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験または、実績が少ない施工事業者を対象に、設計業務や施工技術に関する技術力向上のための研修会を開催する。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 研修会を通して、現時点で施工または、竣工している住宅の省エネルギー基準(外皮計算、一次エネルギー消費量)の算定をして品質管理する。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ実行委員を中心に、研修会に参加された施工事業者の技術力を現場視察する。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅や認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅の普及、周知する為に研修会、現場での施工技術研修会等を実施する。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 将来に渡る断熱性能、高効率設備の重要性を認識させる研修会を開催し、補助対象住宅の施工実績のない施工事業者の数を現状より減らす。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 青森県優良住宅協会と共同で地域学生の「インターシップ」の生徒(将来産業に携わる学生)受入れに積極的に取り組み、施工現場等における就業体験を通して専門分野の知識や技術を総合的に理解していただくとともに、これからの住宅産業の重要性を根拠から築き上げていく。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 22 今年度の参加目標人数 1	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 22 今年度の参加目標人数 1	◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局を通じて講習会の開催日時、開催場所をアナウンスして行くことで、積極的に講習会参加を促す。また、講習会参加者の一元管理も行っていく。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新築のみならず、長期優良住宅化リフォーム推進事業にも積極的に取り組める様、研修会の実施等で、技術力向上を図る。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者の後継者、大工技能の育成を木造建築を通じて技術力支援をし次世代へ継承していく取り組みを推進していく。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	特になし。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) TsuGaru	(地域型住宅供給対象地域) 青森県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) YJK会【やっぱり地元の工務店が一番会】	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0135-0026	

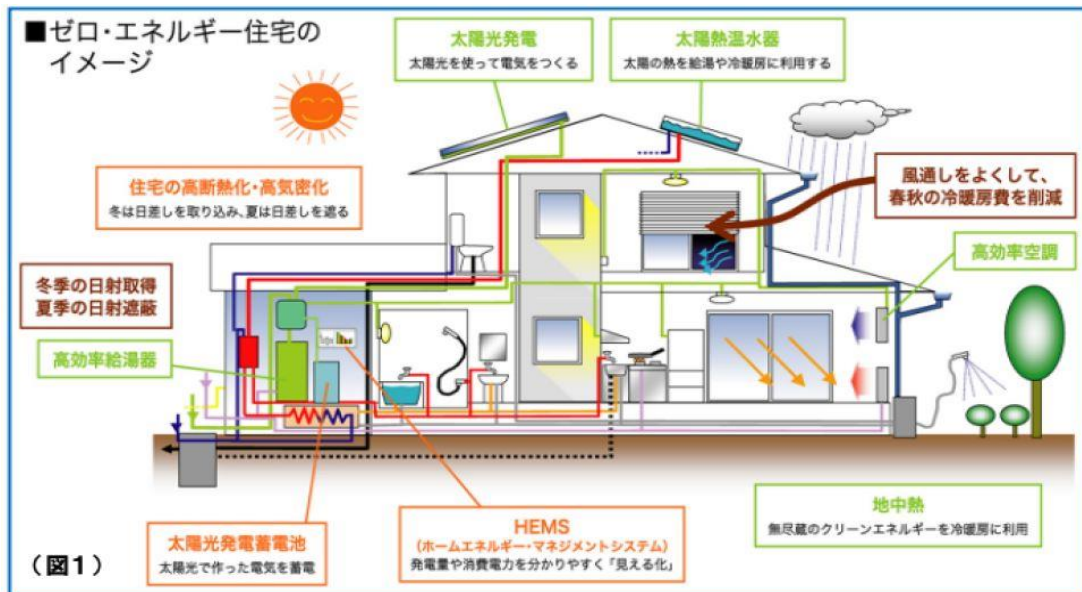
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高断熱住宅、高効率設備の導入により、各地域の基準UA値・一次エネルギー消費量を15%~20%下げ
光熱費のランニングコストの低い住宅、二酸化炭素(CO2)の排出を削減する住宅造りを目指します。
また、ゼロ・エネルギー住宅については未経験者に対して、ゼロ・エネルギー住宅に取り組む為の講習会などを実施し
ゼロ・エネルギー住宅の普及に努め、省エネルギー・創エネルギー出来る住宅を、2020年までにはゼロ・エネルギー住宅受託率50%
2030年には100%を目標にします。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。